

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	空き家対策推進事業				シート番号	017-061	
担当部署名	建築都市	局	住宅	部	住宅まちづくり	課 評価責任者(課長名)	高坂

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	令和 元 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	空家等対策の推進に関する特別措置法等			
	4	関連計画	堺市空家等対策計画			
5	事業実施の経緯	近年、人口減少や社会ニーズの変化等により、空き家が増加している。本市においても、空き家が増加傾向にある。空き家が増加し放置されると、建築物の腐朽や樹木の繁茂等により、近隣環境の悪化に繋がり、問題が一層深刻化することが懸念される。これらに対応するため、本市の空き家実態を把握し、空家化の予防や利活用等の対策を推進していく必要がある。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	空き家所有者等			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	空き家対策推進事業により、空家化の予防や利活用等の対策を推進し、安全で良質な住宅ストックの形成に資すること、及び市民の安全で安心な暮らしを確保することを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	空き家実態調査・・・通報による把握に加え、堺市全域の戸建て及び長屋を委託により把握 予防対策・・・空き家所有者への啓発、空き家所有者セミナー(年1回開催) 活用・流通対策・・・住宅専門家相談(月1回開催)、空き家利活用支援業務を実施 管理不全対策・・・適切な窓口の案内、庁内連携による迅速な対応 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
10	直接実施以外の主な支出先	業務委託受注者				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費(a)	千円	0	0	0	0	16,000	7,016	9,000
主な事業費内訳	空き家実態調査委託業務	千円				16,000	7,016	9,000
		千円						
		千円						
		千円						
		千円						
財源内訳	国・府支出金	千円				7,200	3,507	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
	市債	千円						
その他()	千円							
一般財源	千円					8,800	3,509	9,000
12 人件費(b)	千円		0		0	2,430	2,430	4,920
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	0	18,430	9,446	13,920

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	空き家対策推進事業	シート番号	017-061
-------	-----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	空き家実態調査・・・通報による把握に加え、堺市全域の戸建て及び長屋を委託により把握した。 予防対策・・・空き家所有者への啓発として空き家所有者セミナーを開催した。 活用・流通対策・・・住宅専門家相談(月1回開催)を実施し、空き家に関する相談が計16件あった。 管理不全対策・・・適切な窓口の案内、庁内連携による対応を行った。						
	指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	空き家所有者セミナー参加人数	人	目標値	—	—	15	15
				実績値	—	—	24	24
				達成率			160%	160%
				評価			大変良い	大変良い
	算出方法・設定根拠など		セミナーに参加した空き家所有者等の人数(令和元年度より事業実施)					
	16	指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		戸	目標値					
			実績値					
達成率								
評価								

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	空き家所有者セミナー参加人数	人			24
	②	上記①にかかる年間経費	千円			45
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			1,875
	備考(算出についての説明等)		空き家所有者セミナー開催に要した人件費			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		予防対策、活用・流通対策及び管理不全対策を連携して行うことで、空き家所有者が当事者意識を持ち、空き家所有者セミナーの参加に繋げ、啓発することができた。 また空き家実態調査を行い、空き家の老朽化状況を把握したので、次年度は利活用の促進を図る。

- 【分析のチェックポイント】**

 - 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	空き家対策推進事業	シート番号	017-061
-------	-----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 空き家が年々増加している中で、予防対策、活用・流通対策及び管理不全対策を行って、空き家の増加抑制や空き家の管理不全化の防止を図ることは重要である。本事業を廃止した場合、管理不全な空き家が増加し、防災面や環境面など市民生活に悪影響を及ぼす。						
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>休止の場合の再開時期</td> <td> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降 </td> </tr> </table>	休止の場合の再開時期	<input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降				
	休止の場合の再開時期	<input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降								
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 空き家が年々増加している中で、予防対策、活用・流通対策及び管理不全対策を行って、空き家の増加抑制や空き家の管理不全化の防止を図ることは重要である。本事業を縮減した場合、管理不全な空き家が増加し、防災面や環境面など市民生活に悪影響を及ぼす。						
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 空き家対策を推進することで、管理不全空き家による外部不経済を防止するとともに、流通・活用を促進することで、中古住宅市場の活性化をはかり社会経済活動の維持・回復を図る。						
24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進</td> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">理由・説明</td> </tr> <tr> <td>② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化</td> </tr> <tr> <td>③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 ()</td> </tr> <tr> <td>④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携</td> </tr> <tr> <td>⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡</td> </tr> <tr> <td>⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()</td> </tr> </table>	① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進	理由・説明	② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化	③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 ()	④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携	⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡	⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	今年度、民間の不動産事業者団体との連携による相談体制を構築する。
① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進	理由・説明									
② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化										
③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 ()										
④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携										
⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡										
⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()										
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡充	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降							
		公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大								
		所見 令和元年度市内全域の実態調査により空き家を把握した。今後は把握した空き家が活用・流通されるように民間の不動産事業者団体と連携した相談体制の拡充をする等、さらなる空き家対策の推進を図る。								